
平成 29 年度

まちづくり活動助成 活動視察

団体名 東区文化の道ガイドボランティアの会

「主税町公園に記念銘板設置」

■平成 29 年 9 月 28 日（日） 15 時～

11 月 3 日（祝） 12 時 30 分～

■場所 東区主税町はじめ文化のみち

■東区文化のみちガイドボランティアの会

ボランティア活動をとおして名古屋市東区の優れた多様な歴史、文化など多くの人に紹介する、ガイドや講演会などの活動をしており、H29 年度の助成事業としてガイド用銘板設置がなされます。

■活動のようす

9 月 28 日【銘板設置工事】

設置場所が変更され、公園北西の園路沿いのオカメザサの植え込みの中で、公園灯のすぐそばになったことから、人の溜まりのスペースや採光の面でも当初計画位置より良くなったように思えます。

設置工事にあたり、ガイドボランティアの会 4 人、歴史まちづくり推進室の職員 1 人が現場に張り付いて監督をしていました。

また、東土木事務所の職員 2 人も時間を見計らって視察に訪れ、指導・助言をしていました。

主税町公園は通学路途上にあり、下校の学童が何を作っているのか興味深げにガイドに聞き、地区の歴史の説明を受けるなど、すでに銘板設置の効果が見られました。

当日は風が強く、設置が危ぶまれましたが、銘板の取り付けの際は風も穏やかになり、予定通り 1 日で設置を完了しました。

11 月 3 日【まち歩きイベント記念ガイド「輸出陶磁器産業の面影を訪ねて」】

受付が旧豊田佐助邸になっており、12 時 30 分までに受付を済ませ、改めて 13 時に直接スタート地点の市政資料館に集合しました。当日は、近隣の「文化のみち」の施設も開放していたので、多くの人で賑わっていました。

集合場所で当日の担当ガイドの伊藤さんと、岸さんの男女ペアコンビで案内がスタート。市政資料館の歴史や中に使われているステンドグラスの話を織り交ぜながら、入り口だけ見学しました。

移動途中では、銘板が設置してある主税町公園で銘板の説明をし、この辺り一帯が以前は陶磁器の色付けや加工をして輸出していた先駆けの産業だったことが説明されました。

移動しながら道や町の歴史を分かり易く説明され、移動時間も飽きずに楽しめました。またガイドが二人体制なので車が来た時も、一人が後ろに回って誘導しながら歩くので高齢者にも安心でした。

旧春田鉄次郎邸→旧豊田佐助邸→榑木館と近隣をめぐりながら、それぞれの建物について二人が代わるがわる説明し、建物内も見せてくれましたが、どこも開放イベント期間中の為、人が多すぎてゆっくり見られなかったり、まとまってガイドの話を聞ける状況が厳しいところもありましたが、全体としてはガイドの解説付きで歴史を振り返りながら見れるのは良かったです。

ゴールの名古屋陶磁器会館までは移動距離が長いので、ガイドが機転を利かせて、予定にはない途中の二葉館に立ち寄り説明してくれました。有料で、時間も押していたので説明だけでしたが移動時間もアドリブが効いていて面白かったです。

長い移動の途中に屋根神様が祭ってありその話も聞かせてくれました。盛りだくさんの案内が重なり、ゴールに到着したのは予定の14時50分を過ぎ15時になっていました。

名古屋陶磁器資料館では、普段は入れない榑木館の元所有者で陶磁器産業に尽力されたの井元さんの銅像を見せていただきました。また中に入ってから貸し切り状態で建築様式の説明や、「タイルが素晴らしいので是非そのあたりも注目してください」などと事細かにしていただき、自分では気づかない部分の説明もあり、当日参加していた行政の建築関連の方や、台湾から参加した留学生の女性も興味深く聞いたり、見たりしていました。

お土産コーナーには、カップソーサーに、型押しした透かし画が浮かび上がる、当時のデザインのカップも販売していて、「ご購入や展示室の見学はこの後ゆっくりどうぞ」と締めくくりツアーを終了しました。

終了時刻は過ぎていましたが充実したガイドツアーでした。



【銘板設置 除幕式】



【名古屋陶磁器会館】



【東区街歩きガイド】